



わかたけ



春日部市立武里小学校
児童数 508名
令和7年4月28日発行

「節目」の大切さ～「竹」のように、まっすぐにしなやかに～

校長 小野 誠

4月の半ばを過ぎたあたりから、「春らしい」を通り越して、「初夏のような」陽気が続いています。そんな中、わかたけっ子は新年度の新しい生活にすっかり慣れ、「一生懸命いっぱい」「思いやりいっぱい」で学校生活を送っています。校庭の新緑も、子供たちの笑顔も、キラキラと輝き、胸が躍る時季となりました。

本校児童の愛称「わかたけっ子」について、校歌のサビに出てくる「若竹我らここに集えり」のフレーズに由来していること、そして、子供たち自身が明るい希望をもち、「若竹のように」大きく、強く、まっすぐに伸びてほしいという願いが込められていることは周知のことかと思います。本校児童がなぞらえられる「竹」には、たくさん節目がありますが、この竹の「節目」について、今号では考えてみたいと思います。

竹は、1日に1m以上伸びることもある生長の早い植物です。しかし、ただ上へ上へと伸びるだけでは、自分自身を支えきれなくなりぱっきりと折れてしまいます。そこで、自分を支えるために「節目」があるのです。強い風が吹いたり雪が積もったりした時は、体を「くの字」に曲げて耐え抜き、簡単に折れることはできません。それは、節目があるからです。また、竹が節目を作るときには、その生長のスピードがとてもゆっくりになることも知られています。

この竹の「生長」を、人間の「成長」に置き換えると、同様に「節目」が大切であることが分かります。新年や新年度、入学や卒業などの人生の転機の際などに、「節目」という言葉が使われるのも、そのためではないでしょうか。また、学校生活においては、陸上大会や運動会、林間学校や修学旅行などの大きな行事についても、節目と言えると思います。

わかたけっ子には、若竹のようにまっすぐにすくすくと伸びながらも、数々の節目を大切にしてゆっくりじっくりと成長することで、逆境にも負けない強さ・しなやかさも兼ね備えてほしいと強く願っています。保護者・地域の皆さんには、引き続き、わかたけっ子の成長を支え応援していただきますよう、今月もどうぞよろしくお願ひいたします。

令和7年度入学式

4月9日(水)に入学式を行いました。83名の1年生が、新たに武里小学校の児童として仲間入りです。6年間よろしくお願ひいたします。保護者の皆様もご参列ありがとうございました。

1年生がんばっています

【1年生を迎える会】22日(火)、朝の時間。1年生は6年生に手をつないでもらいながら体育館に入場しました。2~6年生から、心温まる言葉で歓迎を受けました。また、2年生からは、朝顔の種をもらいました。最後に、全員で校歌を歌いました。

【体育】50mを走りました。はじめての友達と一緒に走っていました。

【給食】とても準備が上手です。先生の話を聞いて、静かに素早く取り組むことができています。

【国語】平仮名の学習が始まりました。鉛筆の持ち方や姿勢に気を付けて、とめやはらいを丁寧に書いていました。

【算数】「なかまづくりとかず」の学習をしています。同じ仲間の数を比べて、「～のほうが多い、～のほうが少ない」の言い方を学習しています。ブロックを使って学習しています。



交通安全教室を実施しました

1年生、3年生を対象に交通安全教室を実施しました。春日部警察署の警察官1名、交通指導員さん5名、市役所くらしの安全課の2名の計8名の方をお迎えして、交通安全について指導をしていただきました。

1年生は、横断歩道の渡り方を学びました。指さし確認で「右」「左」「右」「信号」と声をそろえて渡ることができました。

3年生は、「ブタベルサハラ」という合言葉を使って自転車の点検方法を学びました。

また、自転車の正しい乗り方についても学びました。

児童が自転車に乗る場合は、ヘルメット着用が保護者様の努力義務となっております。これから、ゴールデンウィークになります。出かける機会も増えてきます。事故に遭わないよう、お声掛けをお願いいたします。

